

文学部海外現地研修 A・B シラバス

☐ 海外現地研修 A（1 単位） ☒ 海外現地研修 B（2 単位）	
授業の目的	ロンドン大学(University College London)主催のコーパス言語学サマースクールおよび統語論特別講義に参加し、コーパス言語学および統語論に関する理解を深めることを目的とします。コーパス言語学サマースクールの一部及び統語論特別講義は、「統語論 A・B」および「英語学研究 A・B」で使用しているテキスト"English Syntax and Argumentation"の著者である、Bas Aarts 教授が担当します。 さらに、文化施設見学（大英博物館、大英図書館、ナショナルギャラリーなど）により異文化理解を深めます。
配当学年	3・4 年次
履修上の注意	「英語学概論 A・B」を履修済みで、「音声学 A・B」、「統語論 A・B」、「意味論 A・B」を履修済みまたは履修中であることが望ましい。 - 英語学の「英米文学演習（3 年）」または「卒業論文」を履修中であること。なお、久保田及び石井担当の「英語学研究」両方を履修中または履修済みであることが望ましい。
授業の内容	第 1 回 事前授業（1） 第 2 回 事前学習（2） 第 3 回 7/2 現地到着 7/3 ロンドン大学統語論特別講義①・②、文化施設見学 7/4 コーパス言語学サマースクール① 7/5 コーパス言語学サマースクール② 7/6 コーパス言語学サマースクール③、文化施設見学 7/7 文化施設見学 7/8 現地出発 7/9 日本到着 実習日程：（予定）7 月 2 日～9 日 実習場所：英国・ロンドン 宿舎：ロンドン大学学生寮 募集人数：15 名以内（最少催行人数 5 名） 参加費用：約 28 万円 一部大学からの補助が出ます （内訳： 航空費 18 万円、授業料 5 万円、宿泊費 3 万円、食費・雑費 2 万円。なお、航空運賃及び為替レートで変動があります） 募集方法：「英米文学演習（3 年）」及び「卒業論文」の振り分け結果発表後、英語学ゼミ学生を中心に、仮参加希望学生を募ります。4 月初め、仮希望学生を対象としたガイダンスを行います。その後、正式に参加する学生は、マークシート用紙にて履修登録をして下さい。 現地研修後、各自 6,000 字程度のレポートを提出。
成績評価	研修前授業参加 20％，研修参加態度 60％， 実施後のレポート 20％
教科書	Bas Aarts (2017) <i>English Syntax and Argumentation (5th Edition)</i> , Palgrave. (「統語論 A・B」及び石井担当の「英語学研究 A・B」のテキスト) UCL コーパス言語学サマースクール用コースパケット